

農村ボランティア大募集!

ー農村ボランティア支援事務局がスタートー

ふるさとむら 棚田交流人の活動が広がります

平成一八年四月から社団法人兵庫みどり公社におきまして、新たに農村ボランティア支援事務局がスタートいたしました。

農村ボランティアとは、従来からの取り組みであります「ふるさとむら」と「棚田交流人」の活動を支えていただいたボランティアを総称した名称となっており、活動のための支援業務を兵庫みどり公社が担当することになりました。

兵庫県下の中山間地域の農村は、過疎化や高齢化が急速に進みつつあり、農業を続けて農村を守り育てていくことが難しくなっています。そこで、兵庫みどり公社では、だれもが「農」に親しみ、

ふるさと交流だより

発行者

**農村ボランティア
支援事務局**
(社)兵庫みどり公社
楽農生活部 交流課
〒650-0004
神戸市中央区
中山手通 7-28-33
電話 078-361-8119
FAX 078-361-8128

より人間らしく豊かに生きる「楽農生活」を目指して、農村ボランティアの方が農村の人たちと一緒に農作業に参加することにより、中山間地域の集落を守り育て、農村が都市の人たちにも開かれたふれあいの場になり農村の活性化につながるよう支援を行っています。



支援業務の一環といたしまして、一八年度はできるだけ多くの都市住民の方々に農村ボランティア活動をご理解いただく場として、県下の活動地区で現地研修会等を計画しております。

また、事務局には専属のコーディネーター一名を設置しており、ボランティア活動の調整に努めさせていただきますとともに、今後の研修会日程等のご案内をさせていただきますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

ピリリと辛い山椒の木の芽摘み

四月二十九日（土）香美町御崎で『ピリリと辛い山椒の木の芽摘み』を参加者二五名で実施しました。晴天に恵まれ日本海が一望できる絶好の景色を見ながら山椒の木の芽を摘みました。山椒の木はトゲがあるのでゴム軍手をつけて作業しました。午前中で木の芽摘みは終了し、公民館で収穫した芽の掃除を行いました。途中交代でおいしい平家そばをいただきながら地道に作業を続けました。



但馬ニュース

二時ごろ作業が終了し佃煮を作っている間に、地元の方の好意で、フキを収穫させていただきました。持ち帰って料理しましたが柔らかくクセがなく非常においしかったです。あれこれしているうちにおいしそうな匂いが・・・。佃煮が完成しました。一口いただきましたが、山椒の匂いと辛さが絶妙でご飯がほしくなる一品です。残念ながら御崎の活動は年一回ですが、この時期にしかできない山椒の佃煮が食べたい方は、是非来年参加しましょう。

おじいちゃんとおばあちゃんの応援隊

西播磨ニュース

昨年一二月一七日に続き、四月二十九日（土）、佐用町西新宿の『おじいちゃんとおばあちゃんの花しょうぶ園』の草引き作業を実施しました。



今回も、現地までの送迎バスを運行、一小时前に到着、地元の方のあいさつのあと、すぐに作業を始め、ふるさとむら会員一八名を含め、総勢二五名と地元の方々と作業を実施。



昼食後山菜採りをした後、作業を再開、一四時頃に終了、その後ふれあいの里上りでモチ大豆みそなどの地元の特産物を買って、一七時に神戸に到着しました。今年も、六月二〇日頃からしょうぶが見ごろとなり、七月には、ササユリやアジサイ、八月には千年ハスが咲きました。七月下旬には、一番つらい、しょうぶの株分け作業を行いました。みなさんは是非活動にご参加ください！

ヒメボタルの郷 笛路村に集う

「ペッタタンコ」、「ペッタタンコ」
時ならぬ餅をつく心地よい音が
聞こえてきた。今日は今年度初め
の笛路村のふるさとむら会員
によるボランティア活動だ。



五月二十八日、三七名の会員が笛
路村に乗り込みました。地元の出
中代表から村の現状や今年度の
農作業計画等について説明があ
り、今後の村の活性化は都市との
交流が大切で、ボランティアの皆

昼は地元でとれた農産物を使っ
た料理をいただき、午後は餅つきを
楽しんだ。

五月に引き続き、六月二五日には
四五名の会員が参加し、タマネギ、
じゃがいもの収穫並びにさつまい
も、黒大豆苗の植付けを行いました
。雨の中ではありましたが、皆カ
ツパを着て土まみれになりましたが
収穫を手伝いました。その後草刈機
の講習を受け、実地も体験し有意義
な一日を送ることが出来ました。

今後の予定

内 容	時 期
サツマイモ、黒豆の収穫	10月中・下旬
干し柿づくり、玉ねぎの植付け	11月
ジャガイモの植付け	3月
シイタケほだ木づくり及び菌 植付け(会員の希望があれば)	2月

楽農生活ニュース

兵庫楽農生活センターが オープンします!!

兵庫県では、農作業体験や農
山漁村との交流など、暮らしの中
で「食」や「農」に親しみ、より
人間らしく生きるための新たなラ
イフスタイルとして「楽農生活
を提唱、推進しています。

この一環として、(社)兵庫みど
り公社では、県からの委託を受けて、気軽
に「農」の大切さを学び、農作業などの体
験や実践ができる拠点として「兵庫楽農生
活センター」(神戸市西区神出町)の整備
を進めてきましたが、いよいよこの秋にオ
ープンすることになりました。

センターの主な事業内容

- ・ 農業技術の習得研修
- ・ 農業教室
(米づくり)
- ・ 農作業体験
(野菜、花、果樹)
- ・ 農産加工体験
(ジャム、豆腐等)
- ・ 里山体験
- ・ レストラン
(地域の食材を提供)
- ・ 農産物の直売



農村環境課 地域政策係 紹介



四月から担当係長となりました岩見です、よろしくお願ひします。

兵庫県内の中山間地域の農村は、価格の低迷による農家の生産意欲の低迷、高齢化、人口減少により荒廃が進んでいます。

県民の食料自給率が一六%の本県においては、消費者が農山村の現状を理解し、支えなければ県内での食料確保は非常に厳しい状況になるでしょう。

消費者が自らの生活を支えるためにも農山村地域の維持し続けることが必要です。

そのための取組がふるさとむら・棚田交流人です。会員の皆様にはこの運動を広げて頂きます

うご協力をお願いします。なお、私は、普段の休みには、家の田畑で作業をしています。そのため、「農家のおっさん」に見えますが、あくまでスタッフです、目印は紺色のキャップをかぶっています、お間違えの無いように！



前任の栄藤に代わりまして本年度よりふるさとむらと棚田交流人の担当になりました桑原と申します。3月までは淡路島で台風23号関連の災害復旧事業を担当していました。不慣れでご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

現在ふるさとむら40地区・棚田交流人24地区行われていますが、本当に活動している所は数少ないです。本年度からは活動が低下している地区にてこ入れ(会員の再募集等)をやっていきたく思っていますので、現在ふる

さとむら・棚田交流人を行っている地区の方で希望の方は連絡ください。またその他会員の方でも相談・質問事項のある方は連絡ください。事務局でも直接農村環境課でもかまいません。よろしくお願ひします。



兵庫県農林水産部農村環境課
地域政策係 岩見・桑原
〒六五〇―八五六七
神戸市中央区下山手通五―一〇―一
電話 〇七八―三六二―九一九八
fax 〇七八―三六二―九四五五

【編集後記】

『ふるさと交流だより』創刊号をお読みいただきありがとうございます。ごさいます。

この春に新しい事務局になってから、初めて情報紙を作成しました。何かと見苦しい点もあるかと思いますが、これから内容、ビジュアルともにして見やすいものにして行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

地域情報・会員情報を掲載し、本誌を充実させていきたいと思っておりますので、皆様からの情報をおまちしています。